



明治有田 超絶の美

世界を魅了した、日本が誇る驚愕の超絶技巧
万国博覧会の時代



江戸時代初期、日本で最初に磁器づくりに成功した有田では、国内にとどまらず、ヨーロッパ各国の王侯貴族を魅了する華やかで精緻な製品を数多く制作してきました。江戸幕府の終焉とともに明治時代が始まると、有田焼は政府により殖産興業製品として位置づけられ、明治政府作成の温知図録等の新図案をもとに革新的な有田焼が創出されます。こうした作品は明治6年(1873)のウィーン万国博覧会をはじめ、世界各国で開催された博覧会で高い評価を受けました。巨大な花瓶や再現不可能と言われる細密描写には、明治というエネルギー溢れる時代の雰囲気が表れています。

当展では明治期の有田をリードした香蘭社や精磁会社を中心に、万国博覧会への出品作品や皇族・華族が使用した洋食器、それらの元となった図案類も展示し、明治有田の超絶の美を紹介します。

- 展示構成
- 第1章 万国博覧会と有田
 - 第2章 「香蘭社」の分離と「精磁会社」の誕生
 - 第3章 華やかな明治有田のデザイン
 - 第4章 近代有田の発展
- 出品点数 163件275点
(陶磁器 112件223点 図案48件49点 古文書3件3点)

- 1. 香蘭社<染付羅文洋食器> 1910(明治43)年頃(公財)立花家史料館蔵
 - 2. 香蘭社<色絵麒麟花埃鳥文鳳凰形トレイ・コーヒーセット> 1875(明治8)年~1880年代 株式会社賞美堂本店蔵
 - 3. 香蘭社(年木庵書三)<色絵流水梅花文耳付花瓶(対)> 1875(明治8)年~1879(明治12)年 有田ポーセリンパーク蔵
 - 4. 精磁会社<金彩パルメット桐文チュリン> 1879(明治12)年~1897(明治30)年頃 個人蔵
 - 5. 香蘭社(辻勝蔵)<色絵菊花流水文透台付大花瓶(対)> 1876(明治9)年頃 個人蔵
 - 6. 辻勝蔵<色絵透彫水禽文耳付三足花瓶> 1870(明治3)年~1879(明治12)年頃 個人蔵
- 写真提供:世界文化社

関連イベント(予定)

*詳細が決定次第、HP等にてお知らせいたします。 <http://saga-museum.jp/ceramic/>

- ① 開催記念講演会「明治有田 超絶の美 万国博覧会の時代」
講師: 鈴木由紀夫(佐賀県立九州陶磁文化館 館長・本展監修者)
日時: 10月18日(日) 14:00~15:30
- ② 記念特別講演会「ふるさと有田の思い出とうつわへの思い出」
講師: 江上栄子氏(料理研究家 江上料理学院 院長)
日時: 11月1日(日) 14:00~15:30
- ③ トークショー「オンリーワンの美しさ~世界に羽ばたく日本の美~」
講師: 金ヶ江悦子氏(2010年度ミス・インターナショナル日本代表)
日時: 11月8日(日) 14:00~15:00
- ④ デザインセミナー「作り手から見た明治有田の美とデザイン」
講師: 岩永千穂子氏(一級技能士(絵付) 伊万里・有田焼伝統工芸士)
日時: 11月15日(日) 10:00~12:00

◆ 展覧会会期中はカフェテラスにて佐賀の美味しいスイーツによる期間限定特別メニューをお楽しみいただけます。

◆ 毎週土曜日の午後2時から1時間程度学芸員が見どころを解説するギャラリートークを行います。

◆ 当館の愛称「きゅうとう」にかけて、910人目ごとの来館者に、有田焼をプレゼントします。

[交通案内]

JR佐世保線有田駅、MR(松浦鉄道)西九州線有田駅下車 徒歩約12分(駅正面の小高い丘の上です。)
西九州自動車道 波佐見・有田インターから車で約10分
JR博多駅からJR佐世保線有田駅までJR特急約80分



佐賀県立九州陶磁文化館
THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM
〒844-8585 佐賀県西松浦郡有田町戸約乙3100-1
TEL0955-43-3681 FAX0955-43-3324
E-mail kyuto@pref.saga.lg.jp
Facebook <http://www.facebook.com/kyuto.saga>

九州陶磁文化館 検索